

千葉大学理学部物理学科 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

物理学の基礎を学びその考え方を問題解決に活用できる総合的能力を身につけることができるように、普遍教育および専門教育をバランスよく編成し、卒業研究等を通してそれらが有機的に繋がった真の知識となることを目指したカリキュラムを提供する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 物理学の文化的な位置づけと社会的責任を理解し、それを地球社会と地域社会の発展のために役立てることができる人材を育成するべく、普遍教育と専門教育をバランスよく編成し提供する。
- 諸課題が地球規模となる時代に対応した教育環境を提供するとともに、地域を支える人材育成に取り組む。

「普遍的な教養」を涵養するために

多様な文化・価値観、社会、自然、環境について深く理解し、人類や社会が直面する課題について多面的な認識と取り組みの姿勢を持つことができる人材育成を目指し、外国語、人文社会科学、スポーツ健康科目など広い教養を身につける普遍教育を提供する。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 物理学の基礎を体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
- 講義科目で学習した物理学の専門知識、論理的思考や手段を、演習や実験、卒業研究などを通して学生が主体的に活用できる実践的教育の機会を提供する。
- 社会を牽引するイノベーション創出のための教育環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 演習科目や学生実験、卒業研究などにおいて、コミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上を目指す実践的教育を行う。さらに、普遍教育の「英語科目」や理学部が提供する英語科目を通して、英語の基礎能力を高める教育を提供する。
- 高度な物理計算や情報通信の利用など、現代物理学に不可欠な計算機利用技術、知的財産権や情報倫理の知識等を修得できるように、普遍教育としての「情報リテラシー科目」と専門教育における計算物理学関連の講義・実習科目を提供する。
- 他者と協力しつつ、主体的・能動的に問題解決に取り組む能力を涵養するために、協働して取り組む実験

科目や演習科目、スポーツ・健康科目をカリキュラムに取り入れる。

- 理学の知識・技能・考え方等を総合的に活用し、社会的要求を踏まえて自らが立てた新たな課題に対して一所懸命に取り組む人材を育成するため、卒業研究等の自主的・実践的研究の場を提供して高度な問題解決能力を涵養する。